

いかだレース大島軍団が制覇!!



応援にも熱が入るいかだレース

志賀町復興感謝祭が7月27日(日)に道のえきころ柿の里しかー帯で開催されました。

地震に負けないで頑張ろうと志賀町商工会が主催し、呼び物のいかだレースは、全20チームが参加しました。各チーム趣向を凝らしたオリジナルいかだを製作し、於古川最速いかだを目指してオールを漕ぎました。

優勝したのは、大島軍団。リーダーの藤江さんは「一致団結しみんなで勝ち取った優勝です」と喜びいっぱいに話しました。

また、特設ステージでは志賀中プラスバンド部の演奏や矢駄地区の獅子舞、歌謡ショーなどが行われ、会場を盛り上げました。

7月29日(火)にインドネシアからの研修生2人が役場を訪れ、坪野副町長にあいさつしました。

訪れたのは、アриф・ウィチャクソノさんとチャスウィカさんで、「優れた漁業技術や日本の生活文化を学び、志賀町の発展のために役立ちたい。また、インドネシアの文化も知ってもらいたい」と日本語で抱負を語りました。坪野副町長は「日本文化と技術を習得し、インドネシアに帰っても生かしてください」とインドネシア語を交えながら歓迎の言葉を述べました。

2人は、金沢で1カ月間研修を受けたあと、8月末から1年間カゴ漁を学ぶ予定です。

インドネシアから漁業研修



副町長と握手するウィチャクソノさん

シ・オンが大台達成

くす玉を割り祝福を受ける升田さん



町の温浴施設アクアパーク シ・オンの来場者が8月1日(金)に100万人を達成し、100万人目の来場者となった、升田紘子さん(高浜町)に花束と記念品が贈られました。

升田さんは週に2、3回利用していて、100万人目と告げられ「汗を流そうと思って来ました。ビックリしています」と話しました。

アクアパーク シ・オンは開業4年4カ月での大台達成となりました。当初の予想では、年間18万5千人の利用予想でしたが、年間22万から23万人と順調に推移しています。

細川町長は「いつまでも愛され、利用される施設であってほしい」と喜びの言葉を述べました。

カメラがどるポ

8月4日（月）に100歳を迎えた品川清作さん（赤崎）に5日、町立富来病院を訪れた細川町長が花束と祝い状を手渡しました。

品川さんは元船員で、米国やヨーロッパなどを回っていたそうです。昨年の能登半島地震の翌日に倒れられ入院しています。

長男の清弥さんは「病院の方によくしていただいているおかげです」と感謝し、細川町長は「おめでとうございます」とお祝いの言葉を述べました。

100歳おめでとうございます



品川さんに「元気でいてください」と声をかける町長

100歳おめでとうございます



前田さんのご家族と民生児童委員の松本さんと坂下さん

8月19日（火）、特別養護老人ホームはまなす園で100歳を迎えた前田なつさんに細川町長から祝い状などが手渡されました。

前田さんは17日が100歳の誕生日で、園ではお祝い会が開かれました。

前田さんは大きな声で「たくさんのお祝いをいただき、ありがとうございます」と話し、何度も手を合わせていました。

この後、入所者みんなでゲームなどをしながら楽しみました。

このほど、コミュニティ助成金を受けて太鼓が整備されました。

この助成金は、宝くじの受託事業収入を財源として、地域社会の健全な発展と宝くじの普及効果が発揮できる事業を対象に交付されるものです。

各団体では会員の日常練習はもとより、郷土芸能の保存継承、体力づくり、地域のコミュニティ活動の推進に役立てたいと考えています。



志賀疾風太鼓保存会

宝くじの助成金で太鼓が整備されました！



大念寺八幡太鼓